

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

ようさんおうこく
『養蚕王国・山梨』は
だれによって支えられていたのかな

『山梨県甲府勧業製糸場』の絵を見て、感じたことを書こう



これらの工場を労働力として支え、働いていたのは

と呼ばれていた 女性たち

明治という新しい時代
を迎え、山梨県においても
県令藤村紫朗の積極的な
政策により、県内各地に大
きな工場が建てられた。

1874年（明治7）に
は県営勧業製糸場が建設
された。作業員は約400
名を数え、全国でも有数の
規模を誇った。

製糸工場のあいつぐ
設立により山梨県の製糸
生産量は、飛躍的に増大
した。



1886年（明治19）、日本初の女性ストライキ 甲府で発生！！

なぜストライキが起きたのかな？ どんな問題があったのか考えてみよう（ヒント：パネル）

[] [] [] []

甲斐の地でたくましく 生
きた女性たちの力強さが、
工場の労働条件に対して、
『反対』の声を突きつけた。

工場働く女性たちの努力で、山梨
県の明治期の [] 生産
量は、全国で4位～6位だった。

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

ようさんおうこく
『養蚕王国・山梨』は
だれによって支えられていたのかな

『山梨県甲府勸業製糸場』の絵を見て、感じたことを書こう

自由記述

建物が大きい。2階建て。れんがでできた煙突がたくさん見える。当時としては、ものすごく近代的な建物だったと思う・・・など。



これらの工場を労働力として支え、働いていたのは

女工

と呼ばれていた女性たち

明治という新しい時代を迎え、山梨県においても県令藤村紫朗の積極的な政策により、県内各地に大きな工場が建てられた。

1874年（明治7）には県営勸業製糸場が建設された。作業員は約400名を数え、全国でも有数の規模を誇った。

製糸工場のあいつぐ設立により山梨県の製糸生産量は、飛躍的に増大した。



1886年（明治19）、日本初の女性ストライキ 甲府で発生！！

なぜストライキが起きたのかな？ どんな問題があったのか考えてみよう（ヒント：パネル）

[長時間労働] [賃金問題] [労働環境の悪さ]

『製糸業と衛生との関係』というパネルを見ると、詳しくわかります。

工場働く女性たちの努力で、山梨県の明治期の〔生糸〕生産量は、全国で4位～6位だった。

観覧日：^{かんらんび} 年 月 日 学校 年 氏名：

山梨の景観はどのように変化しただろうか？

景観を見ることはその地域の特色をつかむ上で大切な事です。山梨の景観は、時代ごとに大きく変わってきました。江戸時代、明治時代、昭和時代前半、昭和時代後半というように大きく変貌してきた山梨県の様子を見る中でこれからの山梨がどのように変貌していくか考えていきましょう。



養蚕王国へ

- ・古代から女性は製糸・織物業といった衣服に関わる仕事に深く関わっていました。そこで、女性の果たした役割は大きかったといえます。

江戸時代

- ・資料から、江戸時代の甲斐国でも、製糸・()業に携わる女性が多く見られました。
- ・甲斐国では、日本最古の離縁状が発見されています。また、その数も全国で4番目に多いのです。
- ・離縁状とは何でしょうか。()
- ・また、上のようなことから、甲斐国はどのようなところだったといえるでしょうか。()
- ・離縁状が多い地域は、全国的に何れも()地帯に集中しています。()・製糸業

かかあ天下とおかいこさんとの関係を考えてみよう。

による収入で、女性たちは離婚しても生活していけるだけの生活力を蓄えていたのです。

明治時代

- ・県令() (1845~1908)の積極的な殖産興業政策が行われます。

- ・1874(明治7)年、県営()という製糸工場が建設されます。

- ・製糸工場の相次ぐ設立

- ・山梨県の製糸生産量は飛躍的に増大します。

- ・その成功は、工場で働く「()」と呼ばれる女性たちによって支えられていました。

- ・1886(明治19)年、日本初の女性ストライキが起こったのはどこでしょうか。

()

展示されている資料をみましょう。作業員約400人の全国有数の規模を誇った。

- ・明治時代、養蚕に必要な（ ）が県内各地で大量に植えられ、一面（ ）という光景が出現します。

果樹王国へ

江戸時代から、山梨では果樹栽培が盛んでした。

明治時代はじめ

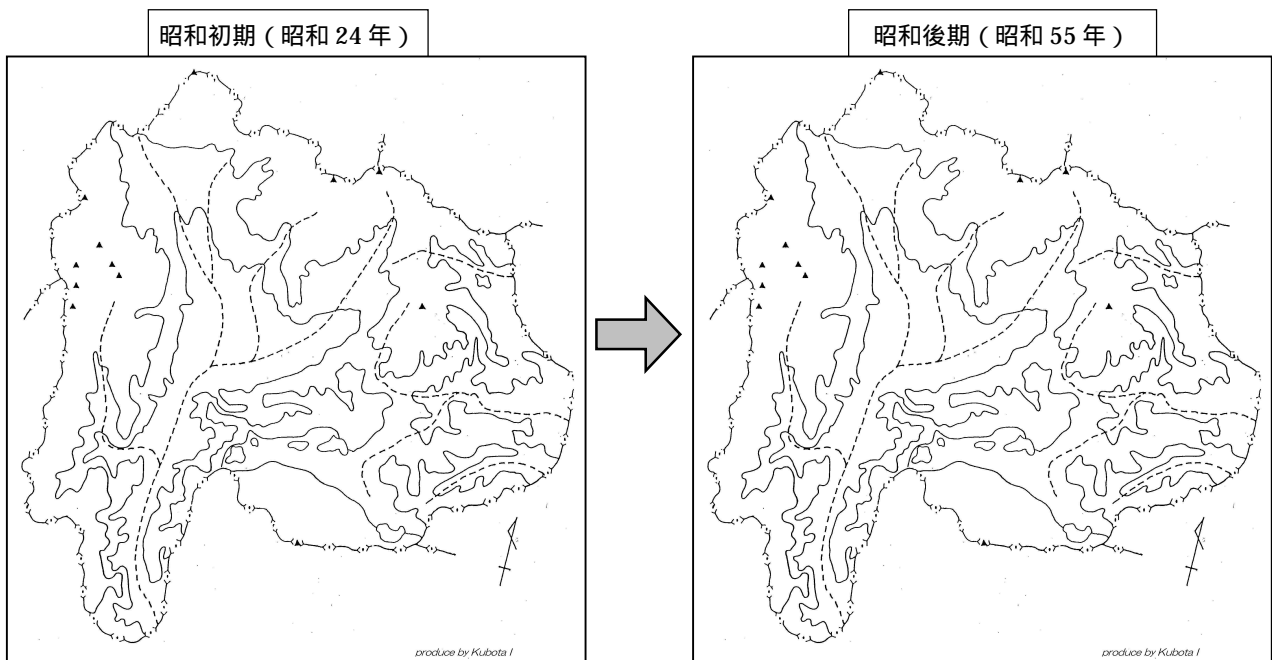
- ・1877（明治10）年、県の殖産興業政策の一環として、（ ）という日本最初期のワイナリーが甲府城内に設けられました。
- ・山梨は、国産ワインの歴史上、また果樹栽培の歴史上、先進的な役割を果たし続けてきました。

第二次世界大戦後

- ・一面に広がっていた（ ）は、一斉に（ ）に変わってしまいました。

高度経済成長による食生活の変化により、果実類を大量に消費する環境が整い、大都市に隣り合うといった地理的な利点を生かしたりして、急激に変貌した。

【まとめ】景観の変貌と土地利用図の変容を比べてみましょう。博物館の資料や地図帳などを参考にして、桑畑（緑）と果樹園（赤）にしぼって書き入れてみましょう。



観覧日： かんらんび 年 月 日 学校 年 氏名：

山梨の景観はどのように変化しただろう？

景観を見ることはその地域の特色をつかむ上で大切な事です。山梨の景観は、時代ごとに大きく変わってきました。江戸時代、明治時代、昭和時代前半、昭和時代後半というように大きく変貌してきた山梨県の様子を見る中でこれからの山梨がどのように変貌していくか考えていきましょう。



養蚕王国へ

- ・古代から女性は製糸・織物業といった衣服に関わる仕事に深く関わっていました。そこで、女性の果たした役割は大きかったといえます。

江戸時代

- ・資料から、江戸時代の甲斐国でも、製糸・(**織物**) 業に携わる女性が多く見られました。
- ・甲斐国では、日本最古の離縁状が発見されています。また、その数も全国で4番目に多いのです。
- ・離縁状とは何でしょうか。(**離婚する際に作られる書類**)
- ・また、上のようなことから、甲斐国はどのようなところだったといえるでしょうか。(**離婚する夫婦が非常に多かった など**)
- ・離縁状が多い地域は、全国的に何れも(**養蚕**) 地帯に集中しています。(**養蚕**)・製糸業

かかあ天下とおかいこさんとの関係を考えてみよう。

による収入で、女性たちは離婚しても生活していけるだけの生活力を蓄えていたのです。

明治時代

- ・県令(**藤村紫朗**)(1845~1908)の積極的な**殖産興業政策**が行われます。

- ・1874(明治7)年、県営(**勸業製糸場**)という製糸工場が建設されます。

- ・製糸工場の相次ぐ設立

- ・山梨県の製糸生産量は飛躍的に増大します。

展示されている資料を見てみよう。作業員約400人の全国有数の規模を誇った。

- ・その成功は、工場で働く「(**女工**)」と呼ばれる女性たちによって支えられていました。
- ・1886(明治19)年、日本初の女性ストライキが起こったのはどこでしょうか。

(**雨宮製糸場(甲府)**)

- ・明治時代、養蚕に必要な（ 桑 ）が県内各地で大量に植えられ、一面（ 桑畑 ）という光景が出現します。

果樹王国へ

江戸時代から、山梨では果樹栽培が盛んでした。

明治時代はじめ

- ・1877（明治10）年、県の殖産興業政策の一環として、（ 葡萄酒醸造所 ）という日本最初期のワイナリーが甲府城内に設けられました。
- ・山梨は、国産ワインの歴史上、また果樹栽培の歴史上、先進的な役割を果たし続けてきました。

第二次世界大戦後

- ・一面に広がっていた（ 桑畑 ）は、一斉に（ 果樹園 ）に変わってしまいました。

高度経済成長による食生活の変化により、果実類を大量に消費する環境が整い、大都市に隣り合うといった地理的な利点を生かしたりして、急激に変貌した。

【まとめ】景観の変貌と土地利用図の変容を比べてみましょう。博物館の資料や地図帳などを参考にして、桑畑（緑）と果樹園（赤）にしぼって書き入れてみましょう。

